

第 3 1 1 号

宮城県 商工連合会報

発行所 仙台市青葉区上杉一丁目14番2号
宮城県商工振興センター内
宮城県商工会連合会
TEL. 022(225)8751
FAX. 022(265)8009
URL.http://www.miyagi-fsci.or.jp/
発行者 佐藤 浩
印刷所 株式会社高橋プリント



綴じ込んで保管しましょう

朝日の中を飛び立つ10万羽のガン 栗原市、登米市「伊豆沼・内沼」

国内有数の渡り鳥の飛来地として知られる伊豆沼・内沼。越冬のためシベリア方面から飛来したガンの大群は早朝、日の出とともにエサを求めて周辺の田んぼに一気に飛び立ちます。はばたく音や鳴き声とともに朝日に照らされて飛び立つ光景は自然の雄大さを感じることができます。

今シーズンも既に10万羽以上のガンが飛来しており、例年1月中旬頃をピークに2月中旬頃までハクチョウ類を含む数万羽の渡り鳥が見られます。

たくさんの鳥で彩られた感動的な光景を身近に見ることができる「飛び立ち観察会」も開催されておりますので、酉年の始めに是非お出かけください。

交通/JR東北新幹線「くりこま高原駅」から車で10分
問合せ/宮城県伊豆沼・内沼サンクチュアリーセンター
TEL:0228-33-2216
FAX:0228-33-2217

写真提供:(公財)宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団

C O N T E N T S

- 年頭のご挨拶(宮城県商工会連合会長).....(2)
(宮城県知事).....(2)
- 第56回商工会全国大会.....(3)
- 中小企業・小規模事業者支援に関する覚書を締結--(3)
- グルっとMIYAGI食の商談会.....(4)
- あいち・みやぎ交流物産展in金山.....(4)
- 地域商店街活力向上講演会.....(5)
- 小規模事業者持続化補助金活用レポート⑧.....(5)
- ものづくり補助金認定企業紹介(有佐々木酒造店)--(6)
- 牡鹿半島グルメ再発見.....(6)
- 各種お知らせコーナー.....(7)
- 青年部・女性部コーナー.....(8)

商売繁盛の年「酉年」に期待

更なる飛躍の年へ

宮城県商工会連合会

会長 佐藤 浩



新年あけましておめでと
うございます。

皆様におかれましては健や
かに、新春をお迎えのことと

心よりお慶び申し上げます。

昨年は、四月に発生した熊
本地震や台風十号の岩手県上
陸、十一月の福島県沖地震に
伴う津波の被害など、自然災
害が連続して発生し、本県に
おいても水産業を中心に大き
な被害が発生いたしました
が、北海道新幹線の開業やリ
オデジャネイロオリンピック
における日本人選手の活躍な
ど、明るいニュースがあった
一年でもありました。

本会が重点事業として取り

ふるさと宮城の「再生」から 「発展」へつなげる年に

宮城県知事

村井 嘉浩



明けましておめでと
うございます。新しい年を迎えるに
当たり、県民の皆様の御健勝
と御多幸を心からお祈り申し
上げます。

昨年は、リオデジャネイロ
オリンピック・パラリンピッ
クで宮城県ゆかりの選手が活
躍されました。バドミントン
女子ダブルスに出場した高橋
礼華さんと松友美佐紀さんが
金メダルを、卓球女子団体に

組んでいる東日本震災から
の復興においては、女川町の
シーパルピア女川等の完成、
南三陸町のさんさん商店街か
ら本設商業施設への移転が間
近になるなど復興の形が見え
つつある地域がある反面、震
災当時の様子からほとんど変
化がない地域もあり、復興に
大きな格差が出てきている状
況となっております。今後も
国・県等に対して積極的に要
望・陳情活動を展開し、全会
員が復興できるまで事業の一
丁目一番地として支援を継続
してまいります。

また、本県においても宮城
県中小企業・小規模企業振興
に関する条例に基づく宮城県

出場した福原愛さんとウイ
ルチェアー(車いす)ラグビー
に出場した庄子健さんがそれ
ぞれ銅メダルを獲得され、私
たち県民に勇気と感動を与え
てくれました。また、石巻市
立病院の再開や三陸縦貫自動
車道の延伸など、震災からの
復興が着実に進み、さらに、
医学部の新設や仙台空港民営
化など「創造的復興」として
種をまいてきた取組が次々と
花開いた年でした。

今年、「宮城県震災復興
計画」(平成二十三年十月策
定)に定める「再生期」の最
終年に当たります。昨年に引

中小企業・小規模事業者振興
基本計画が策定され、「小規模
事業者伴走型支援体制強化事
業」が新設されるなど、今後
の中小企業・小規模企業施策
の充実強化に期待するところ
であります。市町村におけ
る中小企業・小規模企業対策
の一層の推進を図るため、各
市町村における「中小企業・
小規模企業振興に関する条例」
の早期制定に向け、商工会と
ともに積極的な要望活動を展
開して参る所存であります。

更に、本会が平成二十六年度
より受託している「よろず支援
拠点」については、支援体制の
更なる強化を図り、小規模事業
者の立場に立ったワンストップ

き続き、「迅速な震災復興」、
「産業経済の安定的な成長」、
「安心して暮らせる宮城」、「美
しく安全な県土の形成」を政
策推進の基本として、復旧・
復興に向けた施策に最優先で
取り組むとともに、人口減少
対策や地域経済の活性化、地
方創生と地方分権の取組も併
せて推進し、平成三十年から
の「発展期」につなげてまい
ります。

また、今年には県内で大きな
イベントが予定されています。
高校生たちによる熱い祭
典「全国高等学校総合体育大
会」と「全国高等学校総合文

支援体制を構築するとともに、
「経営発達支援計画」が県内全
商工会で認定されるよう全力で
支援してまいります。

平成二十九年は酉年です。
酉(とり)は「取り込む」と
いう言葉とかけて「商売繁盛」
につながると言われておりま
す。商売を営む我々にとつて
良い年になるよう、県内全商
工会員の経営を強力にサポー
トしてまいります。所存でござい
ますので、会員皆様方より一
層のご支援を賜りますようお
願ひいたします。

結びに、会員の皆様方のご
健勝とご繁栄を心よりご祈念
申し上げます、新年の挨拶とい
たします。

化祭」が七月から八月まで、
全国規模の和牛の品評会「全
国和牛能力共進会」が九月に
開催されます。大会を盛り上
げようと頑張っている方々と
ともに全国からのお客様を温
かくお迎えしましょう。

復旧・復興への道のりはま
だ続きますが、ふるさと宮城
の再生と発展のため、新たな
取組にも積極果敢にチャレン
ジしてまいります。明るい未
来を目指しながら、県民の皆
様と手をつなぎ一緒に進んで
まいりたいと考えております
ので、より一層の御理解と御
協力をお願い申し上げます。



決議六項目を掲げ挨拶する全国連石澤会長

第五十六回商工会全国大会が十一月十七日、東京のNHKホールを会場に、本県商工会会長及び副会長等七十一名を含む、全国の商工会関係者総勢約三千名が参加し盛大に開催された。

冒頭、参加者全員による東日本大震災・熊本地震の犠牲者の冥福を祈り黙祷。その後熊本地震に対する全国各地からの物心両面における支援に對する御礼が伊東昭正熊本県連会長より述べられた。

大会では、開会宣言、国歌斉唱に続き全国連石澤義文会長が挨拶。また、来賓として萩生田内閣官房副長官、松村祥史経済産業副大臣等より挨拶があった。

「地域経済の活力再生に向け」 六項目を決議 —第五十六回商工会全国大会—

- その後
- 一、地方経済に波及効果のある経済対策の実施
 - 一、経済の持続的成長を支える小規模事業者への支援の大幅拡充
 - 一、中小企業・小規模事業者が主役の地方創生の実現
 - 一、中小企業・小規模事業者の活力に資する税制・社会保障等の実現

- 一、東日本大震災、熊本・大分地震等への対応
 - 一、商工会の支援サービスの更なる充実
- の六項目について、森義久大会副会長（鹿児島県連会長）が意見表明を行い、「商工会は、行政と手を携え、地域商工業者のもとより、地域住民とも密接に連携しながら良好なコミュニケーションの維持に貢献し、中小企業・小規模事業者支援と地域振興という両輪を携え、地方経済の真の活力再生に向けて組織力を強化し、事業を推進していく」との大会決議が満場の拍手のもと決議された。

最後に、政党代表として自由民主党の二階俊博幹事長、公明党の山口那津男代表、民進党の野田佳彦幹事長より祝辞があり、大会は盛会裏に終了した。

地元選出国会議員に
東日本大震災からの早期復興に係る要望書を提出

大会前日、本会三役が、衆参両議員会館を訪問し、本県選出等の国会議員十五名に対して、東日本大震災及び原子力災害の克服と産業復興再生支援強化及び中小企業・小規模事業者支援対策の拡充強化等について要望を行った。

本会・日本政策金融公庫・宮城県よろず支援拠点と中小企業・小規模事業者支援に関する覚書を締結

去る十二月一日、本会会議室において、本会と日本政策金融公庫、宮城県よろず支援拠点による「中小企業・小規模事業者支援に関する覚書」の締結式が行われ、本会佐藤会長と日本政策金融公庫の仙台・石巻・一関の各支店長、宮城県よろず支援拠点の田中チーフコーディネーターが覚書に署名をしました。

この覚書締結は、顧客紹介と融資斡旋を契機とした地域企業の経営力向上と、連携による相互の機能強化を図ることを目的に行われたものです。

融資相談に対し、商工会が経営発達支援計画の認定を受けて活用する経営発達支援資金の積極的な活用や、商工会と宮城県よろず支援拠点による経営改善計画等の策定支援における資金需要に対し、公庫への迅速な紹介等が期待でき、また、公庫では商工会未加入の小規模事業者から直接融資申込があった場合において、経営支援を必要と判断した場合は、該当商工会を紹介するなどの連携が図られます。

今後、商工会では会員のメリット向上や新規会員の獲得



三者の連携で事業者支援強化を図る

が見込め、公庫では、回収リスクの低減や資金需要を創出することによる顧客の持続的な経営を支援することができ

この締結を機に更なる連携を強め、相互の支援機能を強化していくことで、地域経済活性化を促進して参ります。

宮城県（産業別）最低賃金が改正されました

宮城県最低賃金
748円
(効力発生日)
平成28年10月5日

業種	時間額	効力発生日
鉄鋼業	847円	平成28年12月15日
電子部品・デバイス・電子回路、電気機械器具、情報通信機械器具製造業	798円	平成28年12月15日
自動車小売業	815円	平成28年12月15日

宮城県最低賃金は、それぞれ上記の金額に引上げとなりました。
詳しいことは、宮城労働局労働基準部賃金室（電話022-299-8841）又は、最寄りの労働基準監督署まで、お問い合わせください。



用途や地域などで分けた集合展示

スーパーの棚に並ぶ 「こだわり商品」を売り込め！ — グルッとM-YAGI食の商談会 「ちよっとイイもの商談会」を開催 —

東日本大震災や関連する風評被害等により販路を失った水産加工業者や、新たな販路開拓を目指す食品製造業者等を対象に、販路回復・拡大と地域経済の活性化を図ることを目的とした商談会を昨年十月二十五日(火)、仙台市卸町の卸商センター「サンフェスタ」に於いて開催した。

当日は、県内・隣県のスーパーマーケット等七社のバイヤーを招聘し、サプライヤーとしてスーパーの定番棚での販売を狙っている県内二十二

事業者が参加。また、商談成立に向けたサポート役として、商工会経営指導員や本会サポーターイングリダー、よろず支援拠点の専門家等も参加し、サプライヤーを側面から支援した。

特に、今回は商談会開催に先立ち、参加サプライヤーと支援する商工会職員を対象にした事前セミナーを実施し、商談会での交渉力向上と成約へ繋げるための重要なツールである「FCP商談シート」の作成手法と成約のポイントを学んでいただき、商談会本番に向けた準備を整えた。

当日は「FCP商談シート」や工夫を凝らした商品の展示方法等、各自、質の高い売り込み手法により、積極的に自社商品をPRする様子が見られた。

今後、本商談会に参加したサプライヤーの課題や問題点を洗い出し、フォローアップするための事後セミナーを開催するとともに、更なる販路

拡大を目指し、事業者に寄り添った伴走型支援を行っていることとしている。



バイヤーに自慢の「ちよっとイイもの」を売り込んだ

名古屋で宮城の物産品をPR販売！

— 商工会あいち・みやぎ交流物産展 in 金山 —

十月にJ.R.仙台駅で開催した交流物産展に引き続き、十一月六日(日)〜八日(火)の三日間、愛知県名古屋市金山総合駅にて「商工会あいち・みやぎ交流物産展 in 金山」が開催され、宮城県からは七事業所、愛知県からは二十八事業所が出展した。

今回は駅構内の物販ブース、駅構外の飲食ブースに分かれ、天候にも恵まれたことから、大変多くのお客様で賑わいを見せた。本県より出展した有限会社

十一月二十五日から二十七日の三日間、東京・池袋サンシャインシティにおいて「ニッポン全国物産展」が開催され、全国から三百六十一事業者が出店、会場は約十五万人の来場者で賑わった。

本県からは海産物や天然果汁、菓子等を販売する六事業者が出店するとともに、「全国ご当地おやつランキング」コーナーでは、今回初出店のみやぎ北上商工会会員である「精進スイーツ結び」が「マクロビ精進シヨコラ」を出品し、来場者へPRをおこなった。

また、「おらが自慢のご当地フードコート」コーナー

PR販売！

風月堂の「ずんだ餅」は、宮城を代表する特産品として有名なこともあり、幅広い年代層の方々にご購入いただき、初日の売上ランキングで堂々の一位に輝く人気となった。

また、狩野食品株式会社の「しそ巻くるみ揚」等、愛知県でなかなか見かけることのない商品に興味を示して出展者に話しかけるお客様の姿が多く見られた。

愛知県の出展事業者からは「仙台駅の物産展以降、宮城県のお客様から注文を受ける

地域の魅力を再発見 — ニッポン全国物産展 —



多くの人で賑わった宮城県ブース

等、販路を広げることができ、とても有意義であった」との声もあり、今回の交流物産展が互いの販路開拓に大いに貢献した事業となった。



大人気だった「ずんだ餅」

空き店舗「ゼロ」の商店街に
魅力ある商店街づくりを目指して
——地域商店街活力向上講演会——

地域人口の減少・高齢化等
地域商店街が抱える問題・課
題解決の一助とするため、地
域商店街活力向上講演会を十
一月十五日(火)、仙台ガーデン
パレスにおいて開催した。

第一部の基調講演では、「空
き店舗「ゼロ」の商店街に学
ぶ『長野県佐久市・岩村田本
町商店街の取組み』」と題し、
当商店街振興組合の阿部眞一
理事長より、空き店舗対策事
業の取り組み等についてご講
演頂き、地域における商店街
の役割や今後の活性化の方向
性について学んだ。

阿部理事長は、地域商店街
にはそれぞれ特性(例えば観
光型・イベント型・地域密着
型等)があり、その特性を分
析・把握することでその地域
に合った商店街づくりが可能
になる。また、そうした分析
によって個店の魅力が発掘・
向上し、集客力にも繋がり、
五年・十年後のビジョンが見
えてくることで事業計画も立
てやすくなる等、実際の経験
に基づく具体的かつ的確な事
業提案等について話された。
第二部では、株式会社エム・



阿部理事長に商店街の役割を学んだ

シー・オー代表取締役松浦
忠雄氏がコーディネーターと
なり、阿部理事長に加え、県
内において新商店街活動推進
事業を展開している巨理山元
商工会副会長 森輝雄氏と栗
原南部商工会理事 鹿野浩氏
をパネラーにパネルディス
カッションが行われ、顧客と
商店主が求める商店街の形と
そのギャップを埋めるための
手法について多様な意見が出
された。

参加者からは「大変勉強に
なった。またこのような講演
会があれば是非参加したい。」
との声を多く頂き、大変有意
義な講演会となった。

小規模事業者持続化補助金活用レポート ⑧

印刷サービスの充実を図り
新規顧客の獲得を目指す
(有)及川印刷 (若柳金成商工会)



導入したホリゾン製筋押し機

当社は昭和九年に現
栗原市若柳で創業。昭
和六十年に法人化し、
現在三名の従業員で業
務を行っており、菊半
四色印刷機等によるフ
ルカラー印刷を得意と
している。

昨今、印刷物もイン
ターネット上で全国複
数の印刷会社から見積
りを取って発注するこ
という流れが主流にな
り、全国の同業者との
競争になってきているこ
から、印刷業界は高品
質・短納期・低価格で、
多種多様のニーズに応
えられる対応力が必要
とされている。

また、名刺やシヨップカー
ド、スタンプカード等付加価
値のある筋押し加工のニーズ
が高まってきたことから、こ
れまで手作業で行ってきた中
ロット以上の筋押し加工につ
いても新たな設備を導入し、
作業効率化を図ることが課題
であった。

【具体的な取り組み内容】
そうした課題を解決する
ために小規模事業者持続化補
助金を活用し、ホリゾン製筋
押し機を導入し作業効率の向
上を図るとともに、中ロット
以上の筋押し加工を当社の新
サービスとし、紹介DMを既
存取引先や取引見込先へ発送
取りこぼしていた需要の獲得
と新規顧客の開拓を行った。

【本事業がもたらす効果】
今まで見合わせていた中
ロット以上の筋押し加工が可
能となり、取引先に対しより
付加価値の高い印刷サービス
の提案が可能となった。
また、取引先からの強い
ニーズもあったことやDMの
効果もあり問い合わせが増
え、受注に繋がっている。

【今後の展望】
今後は地元の顧客はもちろ
ん、受注数が増加している関
東の中小印刷会社や広告代理
店、デザイナー等を新たな顧
客として販路開拓を行ってい
く予定である。

経営指導員の声
顧客のニーズを的確に捉え、その上でサービ
スの充実を図ったことは効果的であり、継続的
なPRにより更に売上向上が見込まれます。
今後も販路開拓事業の推移を確認しながら継
続的な支援を行いたいと思います。
若柳金成商工会
山下 博之

【企業概要】
事業者名：有限会社 及川印刷
代表者：及川 靖
所在地：〒989-5501
宮城県栗原市若柳川北中町 61
TEL：0228-32-2092
FAX：0228-32-6506
定休日：第二・第四土曜日・毎週日曜日

ものづくり・商業・サービス新展開支援補助金認定企業 名取産メロンで新酒を開発

(有)佐々木酒造店 (名取市商工会)

当社は創業明治四年、名取市内唯一の造り酒屋で、酒の命である仕込み水をセリの産地で名高い市内下余田の井戸より汲み上げて使用し、県産米を中心に純米酒を製造している。

東日本大震災の津波によって本社酒造施設が全壊する被災を乗り越え、グループ化補助金等の活用により名取市復興工業団地内に仮設製造場を設けて翌々年には酒造りを再開した。しかし、沿岸部に集中していた販路や地元顧客を失ったほか、仮設設備で製造量が少なく収益性が低下したことから、従来の製造販売に加え、復興に向かう地域産業や地元食材と連携した収益性の高い新たな事業機会を模索していた。

そのような中、商工会の提案から、蔵元の強みである醸



開発したメロンリキュール「MoWE」

造技術を最大限活かせる清酒を用いて発信力強化と収益性の向上を図ることを目的に、新たな顧客層である二十〜三十代の女性層をターゲットとしたリキュールの開発を地域の生産農家、酒販店、県産業技術総合センターと連携し、取り組んだ。

高付加価値製品となるよう原材料には、名取市産米と市内下余田のセリ田の水を用いた純米酒、市内上余田産の幻と言われるクールボジヤメロンを使用。製造にあたっては、デザイン専門家等の支援を受け、商品コンセプトを固めた。新商品は市内沿岸部を飛ばすカモメのイメージと方言のウメーベ? (おいしいでしょ?) を掛けて、ドイツ語でカモメを意味する「MoWE (メーヴェ)」と名付け、大手鉄道会社や老舗ホテルと連携した物産展や、試食会への出展・出品を支援して新規販売店舗の開拓に取り組んでいる。更に、地元情報誌への掲載、販路開拓の補助金を活用してネット販売に対応できるHPのリニューアルを行い、今年の十一月三日に販売を開始した。

【企業概要】

事業所名：有限会社佐々木酒造店

所在地：名取市美田園 7-1-1-E4
(閑上さいかい市場内)

連絡先：022-398-8596

URL：<http://housen-naminooto.com/>

ルボジヤメロンリキュール「MoWE」を市内はもろろん県内外への販路拡大を模索していく予定である。

牡鹿半島グルメ再発見

「ホヤ・牡蠣を使った新メニュー試食会」

石巻市牡鹿稲井商工会

去る十一月十六日、牡鹿半島のホテルニューさか井において、「日本一のホヤ、県内一の牡蠣生産地 石巻牡鹿半島グルメ再発見」と題し、行政や報道関係者等三十名を招き、牡鹿半島のホヤ、牡蠣を使った新メニューの試食会を行った。

会場では「魚の楽園に一番近い牡鹿半島 海の御馳走に乾杯」との発声により乾杯し

た後に、地元宿泊業の三事業者より「ホヤのクリーム煮」、「牡蠣飯」、「ホヤッペ」、「ホヤのおつまみ風デザート」など、ホヤと牡蠣を使った料理十二品が発表され、試食した参加者は、「牡鹿半島のうま味を凝縮したような料理」「牡鹿に欠かせない食べられないメニューで、このようなすばらしい料理が食べられると思わなかった」といった意見が

聞かれるなど大変好評であった。

牡鹿半島は霊島金華山をはじめ風光明媚な観光地であったが、東日本大震災の甚大な津波被害から観光客は激減し、交流人口の確保が喫緊の課題であり、地元商工業関係者等で構成する鮎川港まちづくり協議会と石巻市牡鹿稲井商工会では、今できることを模索するための研究会を本年六月より開催しており、本事業はその集大成として実施した。

研究会は、宿泊業や飲食店二十人程が参加し、牡鹿の素材のすばらしさ(素材力)、作り方のすばらしさ(美味しい理由)、食



特産を使用したメニューがずらり

べ方の提供(ワクワク感)の三つに美味しさの秘密があり、お客様目線でサプライズと感動のストーリーを組み立てるという、話題・人気を呼ぶ観光飲食の基本について学びながら試作検討を重ねてきた。

研究会メンバーは、試食会当日も参加者一人一人に素材の良さ、創意工夫した調理方法や食べ方を説明。一般的な試食会をイメージしていた出席者は、その食べ方の豊富さに驚いていた。

今回の取り組みは、レシピを参加メンバー間で共有する等、地域全体で牡鹿半島の魅力を発信する初めての取り組みとなったことから、これを契機に、来春には第二弾を計画するなど、今後とも継続した研究事業を展開し、観光復興を加速させたいと考えている。

小売業を対象に 経営講習会を開催します！

厳しい環境下における経営課題とその解決策について考察するとともに、小規模店が地域で持続的な経営を維持し、売上を伸ばすための手法等について講演いたします。是非ご参加ください。

日時 平成二十九年二月二日(木)
午後一時半～

場所 仙台ガーデンパレス四階「羽衣」

テーマ・講師
◆「宮城県内小売業の課題と今後の方向性とは」
アオヌマ 経営情報研究所 所長 青沼泰彦 氏

◆「県内繁盛店に共通する「商魂」とは」
経営コンサルティング共創 代表 鈴木 斎 氏

◆「心理学で売上をぐんぐん伸ばしましょう！「聞く」とやる気が出る！商売繁盛の心理学」
ファーストアドバンテージ(有) 代表取締役 酒井とし夫 氏



ファーストアドバンテージ(有) 代表取締役 酒井とし夫 氏

福島県商工会連合会、石川県商工会連合会、南あわじ市商工会等、北海道から九州まで全国各地の商工会議所や商工会、行政団体、企業から年間100回以上の講演依頼を受ける人気講師。

「職場健康づくり宣言」制度がスタートしました！

協会けんぽ宮城支部では「健康経営」に取り組む事業所様を応援するため「職場健康づくり宣言」制度を平成28年9月より開始いたしました。「健康経営」に取り組むことで生産性の向上、企業のイメージアップ等が見込まれます。この機会にぜひ、本制度のご活用、ご参加をお願いいたします！！

※「健康経営」とは社員の健康を重要な経営資源と捉え「健康増進」に積極的に取り組む経営スタイルのこと。NPO法人健康経営研究会の登録商標です。

まずは、協会けんぽ宮城支部のホームページから、宣言シートをダウンロードしてください。



「職場健康づくり宣言」制度の流れ



「職場健康づくり宣言」制度登録の特典について

「職場健康づくり宣言」に登録いただいた事業所様とその従業員様のみが利用できる、特典につきましては、決定次第協会けんぽホームページ等で随時お知らせいたします。

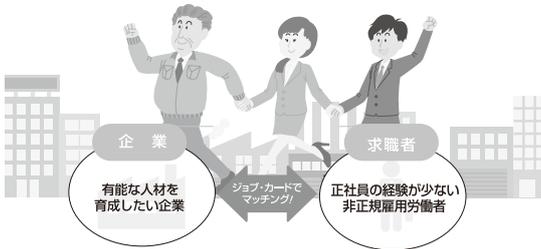
(主な特典) 金融機関等での融資利率の割引、保証料の割引、預金利率の上乗せ等
※ご融資にあたっては別途金融機関の審査がございます。

ジョブ・カード制度

経営者の皆様へ

有期実習型訓練の活用のお勧め

自社のニーズに合った人材を育成できます！



ジョブ・カード

職業能力を証明するA4判の大きさの3種類のシート(①キャリア・プランシート、②職務経歴シート、③職業能力証明シート)です。

有期実習型訓練

ジョブ・カードを活用したOff-JT(座学等)とOJT(実習)を効果的に組み合わせた3カ月以上6カ月以内の職業訓練。有能な人材を育成したい企業と正社員の経験が少ない求職者とのマッチングを促進する国の制度です。



終了後に支給される助成金でコスト負担を軽減！

全国各地の地域ジョブ・カード(サポート)センターでは、ジョブ・カードを活用した有期実習型訓練を実施する企業を支援しています。

宮城県地域ジョブ・カードセンター
〒980-8414 仙台市青葉区本町2-16-12 仙台商工会議所内
TEL:022-212-4777 FAX:022-211-0720

日本商工会議所 中央ジョブ・カードセンター
各地商工会議所 地域ジョブ・カード(サポート)センター
URL http://www.jc-center.jp

厚生労働省
URL http://www.mhlw.go.jp

詳細はwebで ジョブ・カード制度 検索



ふくしまVOICEでは東北・北海道の青年・女性連会長も登壇



「想・創・奏」をスローガンに掲げ 福島県を会場に盛大に開催

—青年部女性部全国組織化五十周年記念式典及び第十八回全国大会—

商工会青年部・女性部の全国組織化五十周年記念式典及び第十八回商工会青年部・女性部全国大会（福島大会）が十一月八日・九日の両日、本県青年部員九十八名と女性部員五十八名を含む約五千三百名の参加の下、郡山市「ビッグパレットふくしま」を会場に盛大に開催された。

地元郡山高校生による合唱・詩の朗読があり、厳粛な雰囲気の中、全青連及び全女性連大会旗の入場に続いて四十七都道府県の青連旗・女性連旗が入場し、「想・創・奏」のスローガンのもと「友よ、ほんとうの空へ」をテーマに開会された。

記念式典は、式辞と来賓祝辞の後、青年部・女性部の発展に顕著な功績があった部員に対する功労者表彰等が行われ、五十年の歴史を振り返り、青年部・女性部の使命を改めて認識し、事業の一層の拡充・強化を誓い合った。



女性部
コーナー

女性経営者等を対象に 事業承継研修会を開催

—若者・女性経営者等研修事業—

研修会は、去る十一月二十四日、二十五日、二十九日、三十日の四日間に亘り、県内五ブロックの五会場において、女性経営者等延べ六百九十名参加のもと開催された。

決のコツ」と題し、親族内の事業承継の基本的な考え方や経営者・後継者の両面の立場に立った事業承継の問題・課題について講演され、相談実例を交えながらの講義に参加者は熱心に耳を傾けていた。事業存続で最も重要な経営課題である事業承継への取り組みは、長期的な計画のもと

二日目には「ふくしまVOICE」と題して被災三県の代表が、震災からこれまでの取り組みと現状について「想・創・奏」の一文字ずつに想いを乗せたプレゼンテーションが行われ、その熱い思いが参加者一人一人の心に刻まれ、意識がさらに深まった大会となった。

及川善弥君(南三陸) 最優秀賞(日本一)を獲得!

—商工会青年部全国大会
主張発表大会—

第十八回商工会青年部・女性部全国大会において、それぞれで主張発表大会が行われ、青年部は東北・北海道ブロックの代表として、本県南三陸商工会青年部副部長の及川善弥君が、「青年部活動と地域振



事業承継のスペシャリスト城所講師

取り組むべきという講師の話に、参加者からは「事業承継を考えるきっかけとなった」「もっと早く聞きたかった」等の声が聞かれ、大変有意義な研修会となった。



全国連石澤会長から優勝トロフィーを受け取る及川君

興・まちづくり」と題して地域の笑顔は未来の種」と題して発表、見事！日本一に輝いた。

—§ 宮城の中小企業を応援します §—

新発売!! 休業対応応援共済業界初!!

火災・台風などによる事故はもちろん、地震・津波・噴火などにより建物が損害を受け休業した場合に補償する共済で、事業活動を手厚くサポートします!!

火災共済 **自動車共済** **その他共済** **損保代理店** **先ずはお見積りを!!**

お問い合わせ・お申込みは **お近くの商工会へ** あるいは直接 **宮城県火災共済協同組合** へ
TEL. (022) 263-1265 FAX (022) 267-2878